学校番号	２０２

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「Joy of Music」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、仲間とともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。共に音楽を楽しむための関係作りをします。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽Ⅰ、音楽Ⅱで培った表現と鑑賞の能力を高め、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、自分に合ったジャンルや曲を考え、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう！	【歌唱】 Stand Alone Sento nel Core An Silvia You Raise me up	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:言葉を含めた音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能、外国語の発音の知識を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	楽器演奏を楽しもう	【器楽】 ギター リコーダー キーボード	○		○		a:楽器演奏に関心をもち、楽器の持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:読譜し、表現したいことを伝えるための演奏技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【創作】 楽器アンサンブルをつくろう		○			b:楽器の特性を踏まえ、楽器の組み合わせで表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞の幅を広げよう ～ワールドミュージック～	【鑑賞】 ケチャのリズム リバーダンス ホーミー 追分節	○			○	a:世界各地で培われてきた楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

2学期	日本語の美しい語感を生かして表現しよう	【歌唱】 初恋 ほたるこい 霧と話した	○	○	○		a:「初恋」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:「ほたるこい」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	弾き語りに挑戦！	【器楽】 ギター キーボードによる弾き語り 「Blowin’ in the wind」 「いい日旅立ち」	○	○	○		a:楽器の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:言葉やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、ジャンルによる特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:弾き語りのための演奏や歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	バレエ音楽やオペレッタなど舞台芸術を楽しもう	【鑑賞】 「恋は魔術師」 「こうもり」	○			○	a:舞台芸術の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、舞台音楽のそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	琉球音階で旋律をつくろう！	【創作】 「琉球音階」から旋律を創作	○	○	○		a:琉球音階の特徴に関心をもち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 b:現代ポップスにも取り入れられた音階の特徴を知覚し、その醸し出す雰囲気を感受しながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:イメージに沿った旋律や歌詞、リズムの組み合わせ方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	グループ演奏で発表会をしよう	【歌唱＋器楽】 自由課題	○	○	○		a:様々な楽器の奏法に関心をもち、旋律・伴奏・リズムを分担し演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それぞれの楽器の特性を生かして表現を工夫している。 c:グループ演奏に必要な基礎的な演奏技能やコミュニケーション能力を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3学期	鑑賞のステップアップ ～声の魅力を探ろう～	【鑑賞】 シャンソン ゴスペル フォークオペラ「ポーギーとベス」	○			○	a:シャンソンからフレンチポップスにいたるフランス歌曲の特徴に、関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:ゴスペルの音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、アリア「サマータイム」とオペラの中での役割を考え、オペラに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	卒業の歌を歌おう	【歌唱】 校歌 思い出がいっぱい 春よ来い 卒業生の歌	○	○	○		a:卒業式で歌う練習とともに、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:最後に全員で歌うためのハーモニーや歌詞の意味を考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:ハーモニーを味わうための音感や歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
　　c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。